

講演会のご案内

公益社団法人 下伊那教育会 会長 滝澤 勇 一

公益社団法人 信濃教育会 会長 大日方 貞 一

公益社団法人 下伊那教育会では、下記の通り講演会を開催します。各界でご活躍されている著名な先生方です。

地域の皆様方にもご聴講いただきたくご案内申し上げます。

記

期 日 令和7年7月28日(月)・7月29日(火)

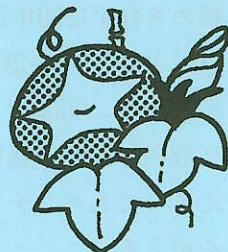
日 程 下欄

聴講方法 オンラインでの聴講(教育会館での対面聴講も可 ※人数制限あり)

聴講料 無料

主 催 公益社団法人 下伊那教育会 並びに 公益社団法人 信濃教育会 共催

後 援 飯田市教育委員会 飯伊市町村教育委員会連絡協議会



【日程・講師・講座紹介】

	日 程	分野	講 師	講 座 紹 介
7 月 28 日 (月)	【開講式 午後1:10~】 ※会場受付・オンライン配信 午後12:45~ 受講案内 午後1:05~			
	午後1:15 ~3:15	文学	落語立川流真打 著述家 立川 談慶 先生	「自己啓発と 落語噺について ~落語一席も披露~」
7 月 29 日 (火)	※会場受付 午前9:15~ オンライン配信 午前9:20~ 受講案内 午前9:40~			
	午前9:45 ~11:45	時局	新潟産業大学経済学部 特任教授 蓮池 薫 先生	「拉致問題の 真相と 解決への道」
	※会場受付 午後12:45~ オンライン配信 午後12:50~ 受講案内 午後1:10~			
	午後1:15 ~3:15	防災	東京大学生産技術研究所リサーチフェロー (東京大学履修証明プログラムDSEP取得) 東京大学災害対策トレーニングセンター講師 田中 健一 先生	「『教室から避難所へ』 ~大震災の現場と 南海トラフを見据えた 防災戦略~」

- ・パソコンやスマホ等を使ってYouTube上に配信される講演を聴講することができます。聴講を希望される方は、右のQRコードから申し込みください(※7月8日)。QRコードの利用ができない場合は下記問い合わせまでご連絡ください。



- ・全ての講座は、教育会館にて対面で聴講することもできます。

(会館住所：飯田市仲ノ町303-1) (※申し込み多数の場合は人数制限があります)

- ・裏面に講師の先生方の紹介があります。

問い合わせ窓口：下伊那教育会事務局 TEL 52-0808

夏季研修講座講師紹介

第一講座（文学）

立川 談慶 先生（落語立川流真打 著述家）

演 題 「自己啓発と落語噺について ～落語一席も披露～」

〈経歴〉 落語立川流真打で著述家。「本格派（本書く派）落語家」。1965年11月16日生
長野県上田市出身 慶應義塾大学卒業。1988年（株）ワコール入社も芸人の夢を
諦めきれず1990年吉本興業福岡1期生オーディションに合格し所属となる。1991年
（株）ワコールを退社、吉本興業も退所。立川流Aコースに入門「立川ワコール」
を名乗る。2000年二つ目に昇進、師匠七代目立川談志による命名で「立川談慶」
に改名、2005年真打昇進（慶應義塾大学卒初の真打）。趣味の筋トレは50歳を超
える今でもベンチプレス100kg以上を上げる。著述業は落語家として異色の27冊
を超える。



第二講座（時局）

蓮池 薫 先生（新潟産業大学経済学部特任教授）

演 題 「拉致問題の真相と解決への道」

〈経歴〉 1957年新潟県柏崎市生まれ。中央大学法学部3年在学中に拉致され、24年
間、北朝鮮での生活を余儀なくされる。帰国後、1年間の市役所勤務を経て、
新潟産業大学嘱託職員・非常勤講師として働くかたわら、中央大学に復学。2005年
初の訳書「孤将」を刊行。2008年 中央大学卒業。2013年 新潟大学大学院博士
課程修了。2013年 新潟産業大学経済学部准教授。2023年～ 新潟産業大学特任
教授。訳書「ハル 哲学する犬」「私たちの幸せな時間」「トガニ」など20冊以
上。著書5冊（うち 共著1冊）の中でも「半島へ、ふたたび」（2009）は新潮
ドキュメント賞受賞。2012年に「拉致と決断」、2025年5月に「日本人拉致」
（岩波新書）を刊行。



第三講座（防災）

田中 健一 先生

（東京大学生産技術研究所リサーチフェロー
[東京大学履修証明プログラムDSEP取得]
東京大学災害対策トレーニングセンター講師）

演 題 「『教室から避難所へ』

～大震災の現場と南海トラフを見据えた
防災戦略～」

〈経歴〉 1959年兵庫県宝塚市生まれ。1985年兵庫県庁入庁。阪神・淡路大震災を
契機に防災部局で27年間防災・危機管理業務に従事。2020～東京大学防災技術
研究所リサーチフェロー。東京大学防災対策トレーニングセンター（DMTC）
講師として、自治体や企業が災害発生直後に設置する災害対策本部の設置・運
営業務に関わる研修の企画立案、運営を担当。2022～NPO法人 日本防災士本
部理事。2022～全国防災ボランティア支援機構 理事などを務める。著書「災害救助法徹底活用（震災
復興・原発震災提言シリーズ）」、「東日本大震災復興の正義と倫理 検証と提言50」（兵庫県震災復興
センター編）。複数の自治体などで災害対策本部図上演習の総合コーディネーター、避難所運営訓練指
導などを行っている。

